

肺神経内分泌腫瘍における特異抗原と臨床経過に関する研究 に関する情報公開

1. 研究の対象

2004年4月1日～2016年3月31日に当院で手術を受けられ、肺癌、肺カルチノイド、と診断を受けた方

2. 研究目的・方法

本研究では小細胞肺癌、大細胞神経内分泌癌、肺カルチノイドの新しい治療標的として期待されるDLL3、HER2、ROB01という蛋白質の腫瘍における発現を評価します。その発現の程度が臨床経過と関係があるかどうかを調べ、比較対象として肺扁平上皮癌、肺腺癌の組織も評価します。上記期間中に名古屋大学医学部附属病院呼吸器外科で手術を受けられた方のうち、試料提供への同意を頂いた方の手術で採取された試料を用います。本研究の結果は日本人の小細胞肺癌、大細胞神経内分泌癌、肺カルチノイドにおいて上記蛋白がどれほど発現しているか、またこれらの蛋白の発現が臨床経過にどのような影響を及ぼすのかを判断する重要なデータとなります。

研究期間は実施承認日から2023年3月31日までです。本研究における研究組織は名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科で、個人情報扱う者は磯部好孝、佐藤和秀、高橋一臣、西永侑子、安井裕智、中村彰太です。肺癌、肺カルチノイドと正常肺組織におけるDLL3、HER2、ROB01の発現の程度を評価します。さらに、発現と臨床経過との間に相関関係があるかどうかを統計学的に解析します。研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、パフォーマンスステータス、喫煙歴、組織型、TNM因子、外科病期、化学療法の有無、無再発生存期間、全生存期間等

試料：手術で摘出した肺癌、肺カルチノイドの組織、および試料に含まれる正常肺組織

試験後の試料や解析データ等は研究終了から10年間を経過した後に破棄いたします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座呼吸器内科学教室

研究責任者： 佐藤 和秀

住所 名古屋市昭和区鶴舞町65

電話 052-744-2167

FAX 052-744-2167